



【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-256／2023年9月26日
【技術の名称】	環境配慮型アスファルト防水工法「省エネ型絶縁通気熱工法」
【依頼者(審査証明取得者)】	昭石化工株式会社

【技術概要】

省エネ型絶縁通気熱工法は、一般平面部の1層目として、粘着層を部分的に設けた下張り用改質アスファルトルーフィングシートを常温粘着工法で施工し、2層目のルーフィングを低臭性の防水工事用アスファルトで張付け施工する工法である。



【開発の趣旨】

省エネ型絶縁通気熱工法は、特殊な構成の下張り用ハynesシート SW-S（常温部分粘着シート）とフジクリーン（低臭性の防水工事用アスファルト）を使用した防水層で構成され、使用するアスファルトルーフィングシートの枚数を2層に低減した改質アスファルト防水層である。そのことで、アスファルトコンパウンドの熔融時に使用する軽油使用量の削減、作業工程数および防水層の重量を削減できることから、従来工法のアスファルト防水と比較して省エネ性がある。さらに施工現場の周辺環境への影響を軽減させることを目的として開発したものである。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- 省エネ型絶縁通気熱工法は、下地側1層目下張り用のハynesシート SW-S（常温部分粘着シート）を張付け、その上に熔融したフジクリーン（低臭性の防水工事用アスファルト）で砂付ミリアシート、砂付SGルーフまたはフジスーパールーフ、フジウルトラルーフ（共にストレッチルーフィング）を張付けることにより、従来の熱工法によるアスファルト防水層と同程度の防水機能を有すると判断される。（適用種別：SS40仕様、SS50仕様、FS40仕様、FST40仕様、FS60仕様、FST60仕様）
- 省エネ型絶縁通気熱工法では、優れた物性の改質アスファルトルーフィングシートを用いることにより、積層数を減少させ、張付け用アスファルトの使用量を削減し、作業環境や現場周辺環境への影響を軽減することができる判断される。
- 従来の熱工法によるアスファルト防水層と比較して、防水層の重量を軽減し、作業工程数の削減と施工の簡素化により作業効率が改善されると判断される。

対比仕様表

種別		省エネ防水	国交省仕様
露出防水	一般防水	SS40	D-2
		SS50	D-1
保護防水	一般防水	FS40	A-2・B-2
	断熱防水	FST40	AI-2・BI-2
	一般防水	FS60	A-1・B-1
	断熱防水	FST60	AI-1・BI-1

【本技術の問い合わせ先】

企業名：昭石化工株式会社  
部署名：製造供給部 技術開発課  
TEL：03-5531-7062／FAX：03-5531-6811